

## テレビスタンド

## SU-B36HR/B32HR/B28HR

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

## △警告

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

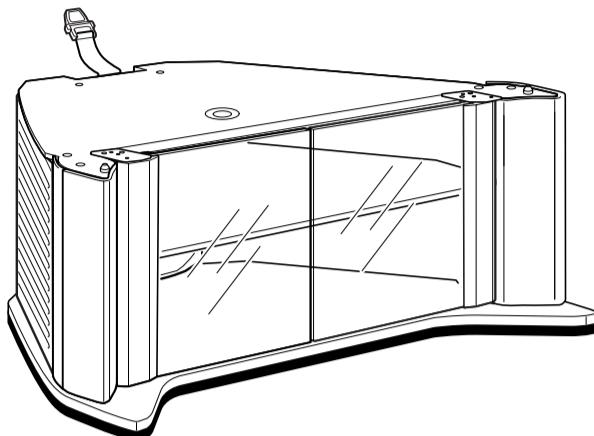
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドは、以下のソニーのカラーテレビ専用です。棚板には、ハードディスクレコーダーやDVDプレーヤーなどを設置するよう設計されています。

## 対応テレビ

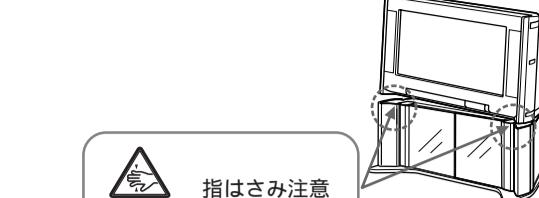
テレビスタンド	SU-B36HR	SU-B32HR	SU-B28HR
テレビ	KD-B36HR500	KD-B32HR500	KD-B28HR500
	KD-32SR300	KD-28HR500B	KD-28SR300

Sony Corporation © 2003 Printed in Japan



## テレビを設置するときのご注意

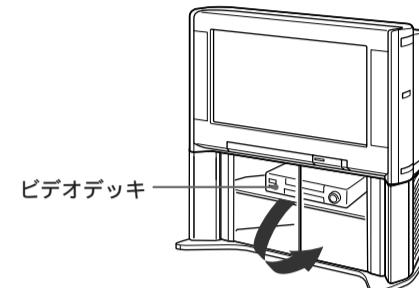
- テレビとテレビスタンドの間に手や指などをはさみこまないようにご注意ください。



## 使用上のご注意

- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によっては、テレビスタンドの変形や傾きが生じることがありますので、下記のことをお守りください。
  - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
  - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
  - 高温多湿の場所や屋外に置かない
- 美しい状態でお使いいただくため、ときどき柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジンなどの化学薬品は、テレビスタンドの仕上げを傷めることができますので、使わないでください。

テレビスタンドの上段には、ビデオデッキなどを置かないでください。テレビ本体がビデオデッキなどの機器の干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。



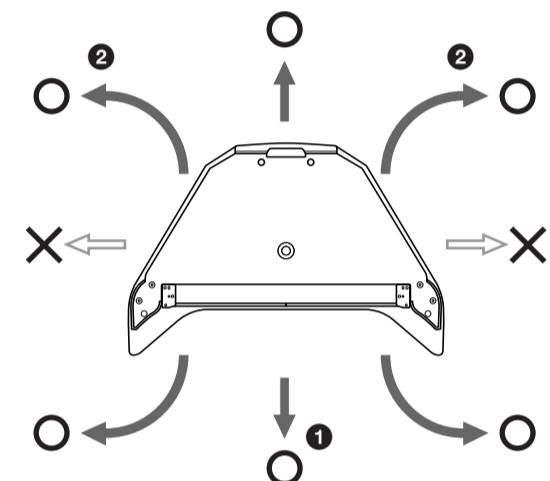
## テレビスタンドを動かすには

このテレビスタンドは、↑で示した方向に動かせます。左右(×で示した方向)には、動きません。無理に動かそうとすると、床面を傷つけたり、転倒の原因になります。

左右に動かしたいときは  
いったん前方(①)に引き、斜め後方(②)に戻しながら位置を合わせてください。

## ご注意

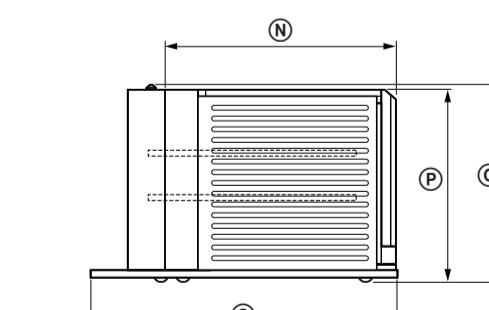
- テレビスタンドを床面に段差があるところを動かすときは、いったん固定ベルトをはずしてテレビを降ろしてください。
- 手足を底板の下にはさんだり、キャスターで踏んだりしないようご注意ください。



## 主な仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

寸法(cm)	SU-B36HR	SU-B32HR	SU-B28HR
Ⓐ	51.6	47.8	48.0
Ⓑ(棚板)	44.8	43.8	36.5
Ⓒ(棚板)		43.0	
Ⓓ(棚板)	17.8	17.8	19.6
Ⓔ(棚板)	80.4	70.8	58.3
Ⓕ	99.4	89.8	80.4
Ⓖ		10.3	
Ⓗ		25.4	
Ⓘ		20.2	
Ⓓ		15.4	
Ⓚ		1.7	
Ⓛ		1.2	
Ⓜ	102.0	92.4	82.4
Ⓝ		43.0	
Ⓞ		45.7	
Ⓟ		44.6	
Ⓠ	69.9	69.9	71.6
質量(kg)	21	20	20



## △警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかししあがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

## 警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

## △警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

## △注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

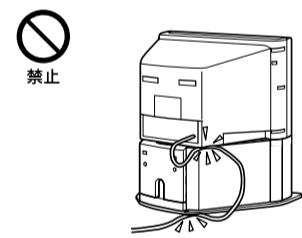


## △警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

テレビスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない

- テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。
- テレビスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない。
- テレビなどは、電源コードをはさみこまないようにする。
- テレビスタンドを動かすとき、キャスターで電源コードを踏まないようにする。
- コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



## △注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

## 指定のテレビ機器以外のものを載せない

- このテレビスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。

載せる機器の総質量は、指定の質量を越えないようにする

指定の質量を越えると、板が割れたり、くぼんだりして、テレビなどを壊す恐れがあります。

組み立て手順に従って、しっかり組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていると、テレビスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

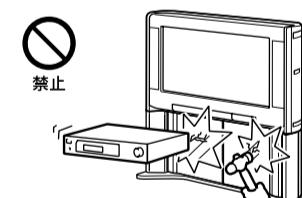
## テレビを固定する

テレビスタンドに付属の固定ベルトでテレビの転倒を防いでください。テレビを固定しないと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



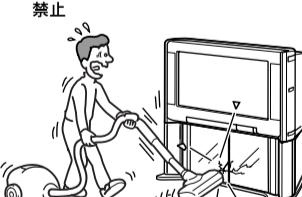
## ガラス扉に強い衝撃を与えない

- テレビスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。また、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えない。



## ・鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。また、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えない。

- ・ハードディスクレコーダーやDVDプレーヤーなどを設置時にガラス扉にぶつけない。
- ・掃除機で床面をすべらせてガラス扉に当てない。



## 踏み台にしない

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



## 扉の隙間に指を入れない

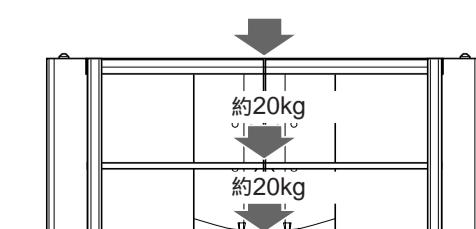
- ガラス製の扉の隙間に指などを入れると、はさみでガラスの縁で指が切れたり、無理に抜こうとしてガラスが割れたりしてけがの原因となります。
- また、お子様が扉を開閉するときや、テレビスタンドの周辺で遊んでいるときなどに誤って手指をはさまないよう充分注意してください。



## 積載量についてのご注意

それぞれの板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。板を壊す恐れがあります。なお、このテレビスタンドの総積載量は、各サイズのテレビの質量と棚板に載せる機器の質量の合計となります。

SU-B28HR: 約58.5kg  
SU-B32HR: 約69kg  
SU-B36HR: 約90kg



# 手順1：組み立てに必要な部品を確認する

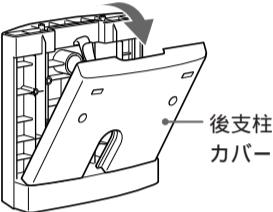
- 組み立てる前に④ドライバーをご用意ください。
- ガラス扉などを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。

名 称	数 量	名 称	数 量	名 称	数 量
天板	1	後支柱	1式	扉固定金具(L、R)	2
側板(L、R共通)	2	固定ベルト	1	キャスター	6
底板	1	後支柱(1)	1	棚ダボ	4
前支柱(L、R)	2	後支柱カバー(1)	1	ネジ(大) ④ 5x40 mm	12
サイドカバー	2	ガラス扉(L、R)	2	ネジ(小) ④ 4x16 mm	2
前支柱	2			平ネジ ④ 4x16 mm	4

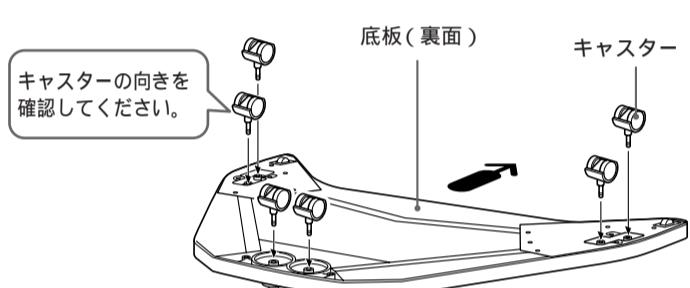
➡ 矢印は正面方向を示します。

# 手順2：底板に支柱を取り付ける

- 1 後支柱のカバーをはずす。



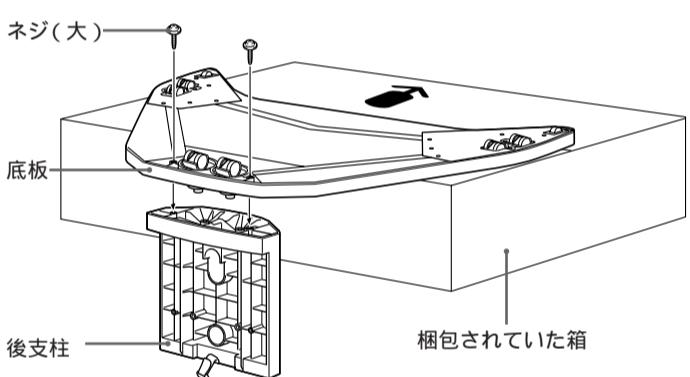
- 2 底板のキャスター取り付け口に、キャスター(6個)を差し込む。



- 3 底板に、後支柱をはめ込み、ネジ(大)2本で留める。

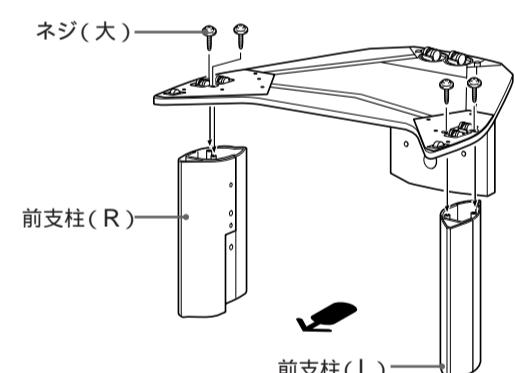
△ちょっと一言  
後支柱と前支柱(L、R)を取り付けるときは、梱包されていた箱などの上に、キャスターの見える面を上にして底板を置いてください。本機や床面を傷つけず、また、安定した状態で作業ができます。

ご注意  
取り付けるときに、手や指などをはさまないようにご注意ください。



- 4 前支柱(L、R)を底板の突起にはめ込み、それぞれネジ(大)2本で留める。

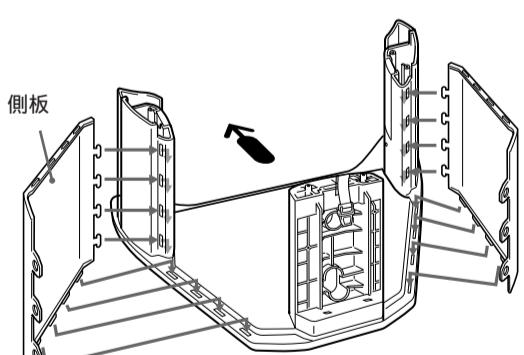
△ちょっと一言  
前支柱は(L)と(R)を1本ずつ、ネジ留めすると作業をやすくなります。



# 手順3：側板を取り付ける

側板のツメを前支柱と底板の穴にはめ込む。

△ちょっと一言  
先に後支柱側のツメを合わせると、入れやすくなります。



# 手順4：棚板と天板を取り付ける

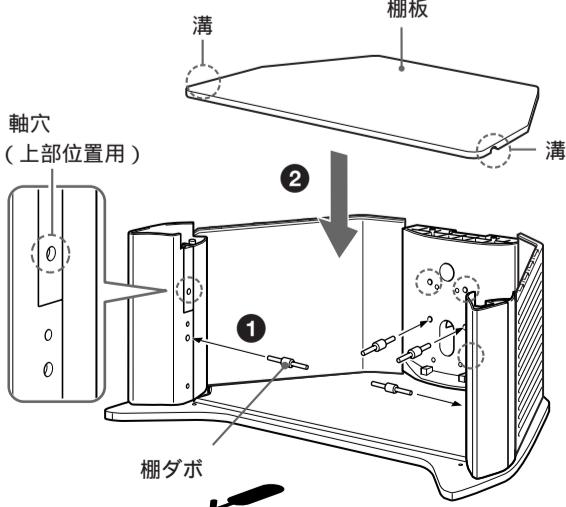
- 1 棚板を載せる。

- ① 棚ダボ(4本)を軸穴にはめ込む。

△ちょっと一言  
棚板を取り付ける位置は、上下2か所あります。どちらかお好きな位置に棚ダボを差し込んでください。

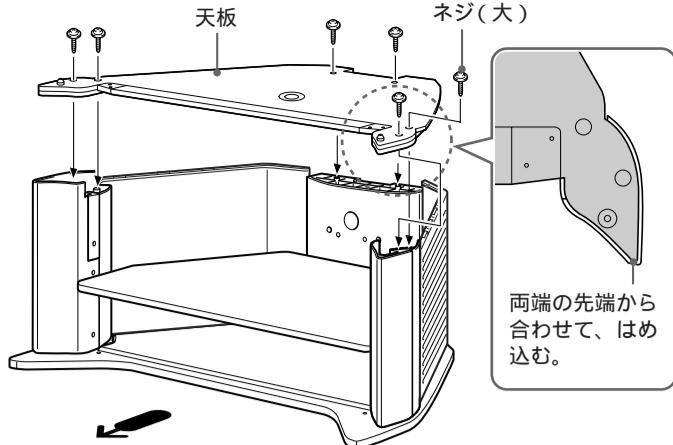
② 棚板を棚ダボに載せ、前支柱に取り付けた棚ダボが棚板裏面の溝にはまっていることを確認する。

ご注意  
棚ダボは、しっかり軸穴に差し込んでください。ゆるんだり取れかかっていたりすると、棚板が落ちてガラス割れや設置したビデオ機器などの故障の原因になることがあります。



## 2 天板を取り付ける。

天板を各支柱と側板にしっかりとめ込み、各支柱にそれぞれネジ(大)2本で留める。



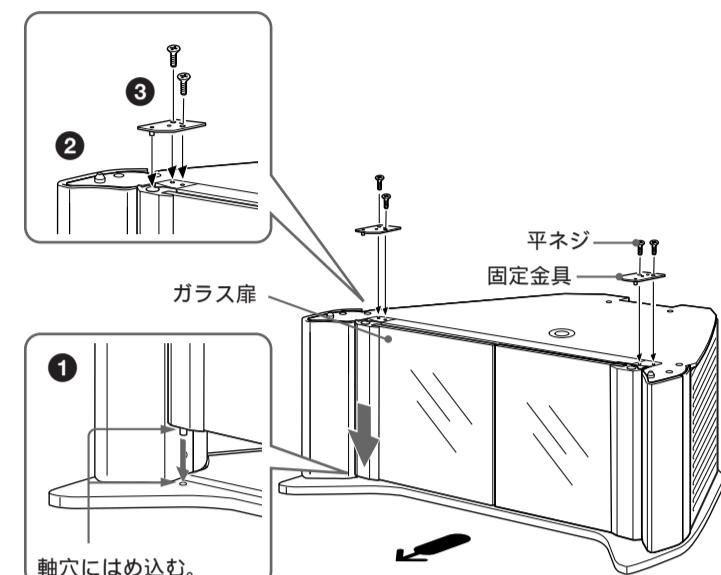
# 手順5：ガラス扉を取り付ける

## ガラス扉を取り付ける。

- ガラス扉の軸のある方を下にし、底板の軸穴にはめ込む。
- 固定金具の軸をガラス扉上部の穴にはめ込み、天板の凹部に合わせてはめ込む。
- 平ネジ2本でそれぞれ留める。

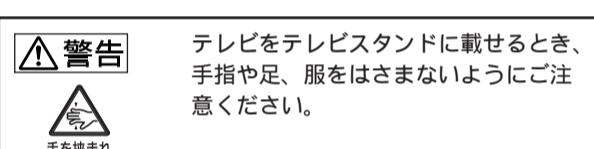
## ガラス扉の位置調整

組み立て後、ガラス扉の位置が合わないときは(両扉に段差が生じるとき)は、ガラスを固定している3つのネジをゆるめて調整してください。

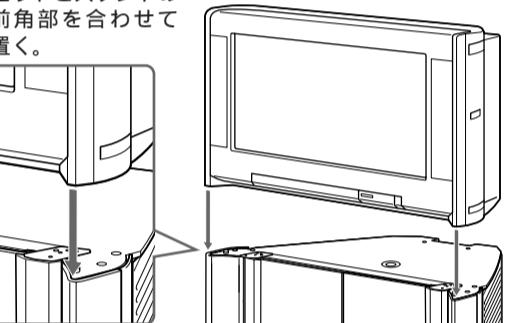


# 手順6：テレビを置く

- 1 電源コードなどをはさまないように注意しながら、テレビをテレビスタンドに置く。

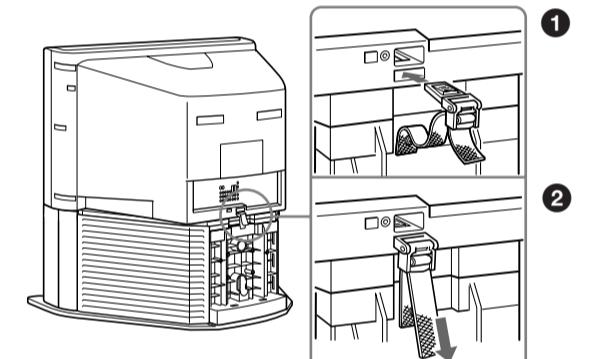


セットとスタンドの前角部を合わせて置く。



- 2 転倒防止のためのベルトを取り付け。

- テレビスタンドに付属の固定ベルトのパックルを、テレビの差し込み口にカチッと音がするまで差し込む。
- 固定ベルトがゆるまないように、ベルトを引いて長さを調節する。



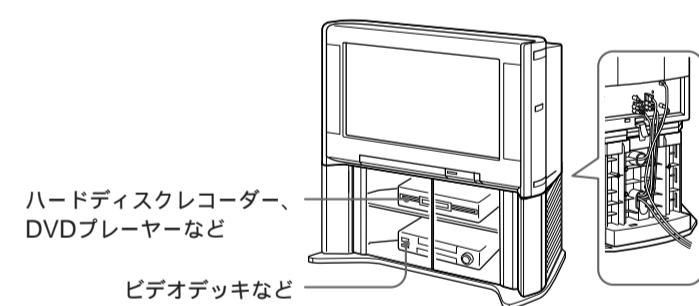
# 手順7：ビデオ機器などを設置する

## ビデオ機器などを設置する。

上段にはハードディスクレコーダーやDVDプレーヤーなどを、下段にはビデオデッキなどの機器を設置する。ケーブルは後支柱の穴を通して配線し、テレビと接続する。

## ご注意

テレビスタンドの上段には、ビデオデッキなどを置かないでください。テレビ本体がビデオデッキなどの機器の干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。



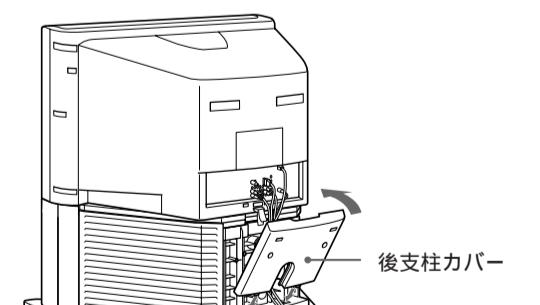
# 手順8：後支柱カバーを取り付ける

- 1 後支柱カバーの下方を後支柱に差し込んでから、上方をかぶせる。

設置した機器の電源ケーブルは、後支柱と後支柱カバーの穴から出して処理する。

## ご注意

電源ケーブルは、たばねると発熱することがあります。カバー内でたばねないでください。



- 2 後支柱カバーを後支柱に、ネジ(小)2本で留める。

## ご注意

必ずネジ留めしてください。ネジ留めしないと、側板が固定されずガタつきます。

